

平成27年度 秋期特別展
飛鳥資料館開館40周年記念

キトラ

古墳と天の科学

平成二十七年十月九日(金)から十一月二十九日(日)

開館時間 午前九時から午後四時三十分・入館は午後四時まで

会期中無休

主催 文化庁・奈良文化財研究所

共催 朝日新聞社

特別協力 NHK

後援 東京文化財研究所・国土交通省近畿地方整備局

国営飛鳥歴史公園事務所・奈良県・奈良県教育委員会・

明日香村・近畿日本鉄道株式会社

入館料 大人 個人二七〇円・団体一七〇円・大学生一三〇円・団体六〇円

高校生及び十八歳未満・六五歳以上(年齢のわかるものは無料)

交通 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅からかめバス(周遊)「飛鳥資料館」下車

または近鉄・JR桜井駅から石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車

ギャラリートーク

十月十六日(金)・十一月十五日(日)

いずれも午前十時より・午後三時より

講演会

「キトラ古墳と天の科学」

日時 十月三十一日(土)午後二時より

会場 明日香村中央公民館(奈良県高市郡明日香村川原九十二)

記念講演 講師・高柳雄一(多摩六都科学館長)

講演・講師 中村 士(大東文化大学東洋研究所)

相馬 充(国立天文台)ほか

関連イベント

平成27年度秋(第14回)

国宝高松塚古墳壁画

修理作業室の公開

会場 国営飛鳥歴史公園内

2015年10月31日(土)——11月8日(日)

事前申し込み制

お問合せ06-6245-0578(月~金 10:00~16:00)

<http://www.nabunken.go.jp/asuka/>

奈良文化財研究所

飛鳥資料館



奈良県高市郡明日香村奥山601——電話0744-54-3561

DESIGN BY R.FUJITA / PHOTO BY T.INOUE

キトラ古墳天井天文図をもとにデザイン(壁面実物は展示されません)

平成27年度 秋期特別展
飛鳥資料館開館40周年記念

キトラ

古墳と天の科学



天球儀 国立歴史民俗博物館



天象列次分野之図 拓本 京都大学

会 期：10月9日(金)から11月29日(日) 会期中無休
(会期中、展示替えがあります。)

講演会：「キトラ古墳と天の科学」
10月31日(土)13時

会 場：明日香村中央公民館 (明日香村川原91-1)
※事前申し込み不要

記念講演・講師 高柳 雄一 (多摩六都科学館長)
中村 士 (大東文化大学東洋研究所)
相馬 充 (国立天文台)
石橋 茂登 (奈良文化財研究所)
若杉 智宏 (奈良文化財研究所)
眞木 隆 (NHK)

総合討議司会 玉田 芳英 (奈良文化財研究所)
建石 徹 (文化庁)

飛鳥時代、天体を観測し、暦をつくり、時を計ることは、支配者の重要な役割でした。中国や朝鮮半島から伝えられた最先端の知識が、天の科学と呼ぶべき科学技術のもととなっています。キトラ古墳の天文図、水落遺跡の漏刻、石神遺跡の具注暦木簡などは、飛鳥時代の天の科学の実態を知ることができる貴重な資料です。

また、石神遺跡から出土した須弥山石も支配者の権力を表すものでした。世界の中心を象徴する須弥山石の周りで蝦夷や外国使節の饗宴、儀礼を行うことで、支配の正当性を誇示したのです。

飛鳥時代の天の科学は平安時代以降の仏教美術や近世の天文学にもつながっていきます。

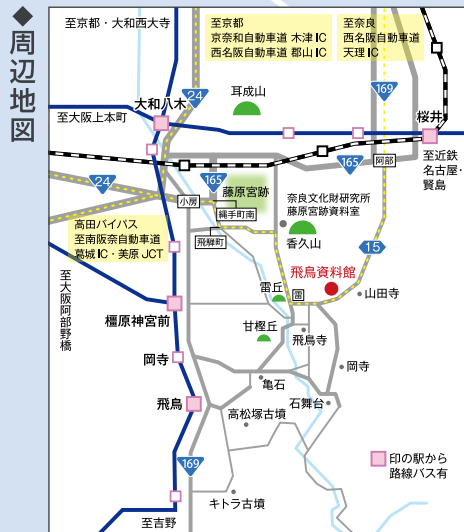
今回の展覧会では、キトラ古墳天文図にかかわる最新の研究成果を中心に、考古資料と天文関係資料・美術品などを紹介しながら、飛鳥時代の天の科学に迫ります。

ギャラリートーク

10月16日(金)、11月15日(日)
各日10:00～、15:00～
展示室で研究員がわかりやすく解説します。



谷文晁 五星及二十八宿神形図巻 栃木県立博物館



開館時間：午前9時から午後4時30分 入館は午後4時まで

入館料：大人 [個人 270円 / 団体 170円] 大学生 [個人 130円 / 団体 60円]
高校生及び18才未満、65歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料

交通：近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から かめバス(周遊)「飛鳥資料館」下車
または近鉄・JR桜井駅から 石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車
近鉄大和八木駅から(土・日・祝日のみ)橿原市コミュニティバスで「飛鳥資料館」下車

駐車場：無料 普通車11台分(都合により閉鎖の場合あり)
近くに有料駐車場あり

奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601
Tel: 0744-54-3561 Fax: 0744-54-3563
http://www.nabunken.go.jp/asuka/